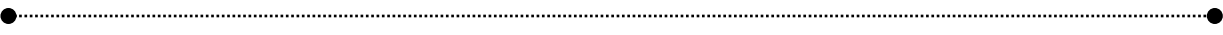


### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	五無齋保科百助の顕彰とその精神を今に活かす
事業主体 (連絡先)	五無齋保科百助研究会 0267(56)2868 事務局 村田長年
事業区分	(3) 教育・文化・スポーツの振興に関する事業
	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	542,630円 (うち支援金: 434,000円)



#### 事業内容

五無齋保科百助先生の狂歌カルタ作成と普及

中学校の生徒や町民、先生方のご協力で、五無齋先生の狂歌48首に絵をつけてカルタを100部作成。町内の児童館・小中高校を始め、各地域公民館など公共施設に寄贈。



【A4サイズにした狂歌カルタでカルタ大会実施 6.2】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① カルタつくりにご協力いただいた子どもたち・町民・先生に参加してもらい、カルタ大会を50人規模で成功させたこと。
- ② 普及用カルタを100セット作り、保育園・児童館・小中・高校・各地域公民館、佐久地域小中学校に寄贈することで、各地域でかるた取りが継続して今後、取り組んでもらえる予定。
- ③ 五無齋研究会自ら、カルタ大会を行うことで、メディアに取り上げてもらった。そのことが五無齋カルタへの興味関心を高め、増刷への要望が強くなり、多くの方にカルタを手にとってもらえた。
- ④ 狂歌に親しんでもらうことを通して、正義・真実を愛し、未来の子どもたちの教育に力を注いだ五無齋先生の精神に触れてもらい、時代を切り開くたくましい力を養う一助となった。

#### 【目標・ねらい】

- ① 狂歌カルタを町民・子ども・教師が力を合わせて作り上げる。
- ② 保育園・学校・地域へ寄贈することで町内・佐久地域で五無齋狂歌カルタ取りを通して、五無齋さんへの関心を高めてもらう。
- ③ カルタという遊びを通して、五無齋さんの諧謔の精神・さまざまな困難を乗り越えるたくましい精神を学び、生かしてもらうこと。

#### ※自己評価【A】

【理由】子ども・町民・先生方を巻き込んでカルタを作成し、五無齋さんへの関心を高めることができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ① 毎年五無齋さんの生誕・逝去の日近辺の6月第1週に、広く参加を呼び掛けてカルタ大会を行う。
- ② 保育園・児童館・小中学校などで、カルタの時間を取っていただけるよう働きかけ、郷土の偉人、五無齋保科百助先生の偉業・精神に触れてもらう機会としたい。
- ③ 新春かるた大会を広く町民・子どもたちに呼びかけて、関心を高めてもらう。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある